取扱説明書　MM-HSUSB14series

ご使用になる前によくお読みください。

USB対応ヘッドセット

最初にご確認ください。

セット内容		
●ヘッドセット	…………………………	1台
●USB変換アダプタ	………………	1個
●取扱説明書(本書)	………………	1部

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEB(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社　2010.4現在

岡山サプライセンター／〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター／〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

10/04/KNDaNo

1.安全にご使用いただくために必ずお読みください

⚠ **警告**　この表示事項を守らなかった場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険があります。

⚠ **警告**

<内部を開けないでください>
●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

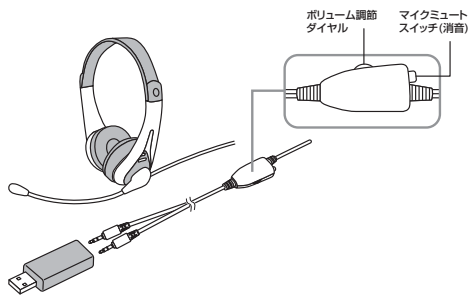
<内部に異物を入れないでください>
●内部に燃えやすいものや、硬貨などの金属片が入った場合、水などの液体がかかった場合は、接続しているコードを抜き、お買い上げいただいた販売店又は弊社にご相談ください。そのままでご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

<接続コードを傷つけないでください>
●コードを傷つけたままご使用いただくと火災・感電の原因となります。

2.使用上の注意

●下図の矢印の方向に広げすぎるとヘッドバンドが折れる恐れがあります。装着時には必要以上に広げないでください。
●ヘッドホンのスポンジ部分は長期間の使用、保存によって劣化する恐れがあります。また、指で引っ張ったり、先の尖ったもので触れないでください。破れる恐れがあります。
●マイクの先端を矢印の様に回転させないでください。破損する恐れがあります。
●マイクアームの根元部分を回転させるときは、過剰な力を加えないでください。破損や断線の恐れがあります。
●ケーブルやプラグに無理な力を加えないでください。破損や断線の恐れがあります。
●はじめから音量を上げすぎないでください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。
●ご使用になるときは、音量を大きくしすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間連続して聞くと聴力を損なう恐れがあります。
●イヤーパッドなど直接耳や肌に触れる部分に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用を続けると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

3.特長

●USB変換アダプタ付きで通常のヘッドホン・マイク端子だけでなくUSBポートにも接続できます。
●36mm口径スピーカーユニットで迫力の音楽再生が楽しめます。
●ノイズの混入を抑制するノイズキャンセルマイクを採用しています。
●ソフトイヤーパッドで装着感に優れ、長時間の使用にも対応します。
●マイクミュート+ボリューム調節が手元スイッチで簡単に行えます。
●SkypeやWindows Liveメッセンジャーなどに対応しています。

注)現在市販されているTVチューナー(アナログ対応)ではTVの音声をアナログ信号で出力しているため、本製品からTVの音声を出すことはできません。一度パソコン内に録画したものについては聴くことができます。なお、デジタル対応のTVチューナーについては問題ありません。

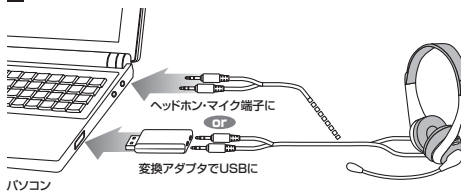
4.仕様

ヘッドホン部	
形　式	ダイナミック型36mm(ステレオ)
周波数特性	20～20,000Hz
インピーダンス	32Ω
最大入力	30mW

マイクロホン部	
形　式	コンデンサータイプ
指向性	単一指向性
周波数特性	80～12,000Hz
インピーダンス	2.2KΩ
入力感度	-42dB±3dB

共通仕様	
コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
	USB変換アダプタ(USB 2.0/1.1両対応)
対応機種・OS	Windows 7・Vista・XP Mac OS X(10.0以降)、Mac OS 9.2～9.2.2※ ※MacではUSB変換アダプタをご使用ください。
ケーブル	約1.5m
重量	約108g(コードプラグ含む)

※上記の動作環境において、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
※自作パソコンおよびOSの個人でのアップグレード、マルチブート環境での動作保証はいたしません。
※USBポートを装備した家庭用ゲーム機等での動作保証はいたしません。
※スイッチを押した際に、多少雑音(「パチッ」という音)がヘッドホンから聞こえてくる場合がありますが異常ではございません。

5.接続方法

<ヘッドホン・マイク端子に接続する場合>

パソコンのヘッドホン・マイク端子に接続してください。

<USBに接続する場合>

パソコンの電源を入れ、OSが完全に起動してからUSB変換アダプタをUSBポートに接続してください。※ヘッドセットはいつ接続してもかまいません。

■ Windows 7・Vista・XPの場合

接続をするだけで自動的にドライバがインストールされ、C-Media USB Audio Deviceと認識されます。※再起動を要求される場合は再起動してください。

■ Mac OSの場合

接続をするだけで自動的にドライバがインストールされます。
※使用するアプリケーションによっては、アプリケーション側で「オーディオデバイスの設定」をする必要があります。

6.トラブルシューティング

Q1) USBハブに接続できますか?
A1) 本製品を接続する際にはパソコン本体のUSBポートに直接接続するか、ACアダプタ付のUSBハブ(セルフパワードハブ)に接続してください。キーボードや液晶モニタのUSBポートでは使用できない場合があります。

Q2) TVチューナー(アナログ対応)の音を本製品で聴くことができない。
A2) アナログのTVチューナーのボードは、アナログ音声出力のみとなっているため本製品でTVの音を聴くことはできません。
一度パソコン内に録画したものについては聴くことができます。

Q3) 本製品をUSBで接続しているのにヘッドホンから音が出ないで「パソコン本体のスピーカー」から音が出る。または、音声入力ができない。
A3) パソコンの設定で優先されるスピーカーに「パソコン本体のスピーカー」が設定され、マイクについても別のデバイスが設定されています。本製品を優先するよう設定変更してください。

Windows 7、Vistaの場合
1.本製品をパソコンに接続した状態で「スタート」→「コントロールパネル」を開く。
2.「サウンド」を開き「再生」「録音」項目において再生するデバイスを「C-Media USB Audio Device」に設定する。

Windows XPの場合
1.本製品をパソコンに接続した状態で「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く。
2.「マルチメディア(サウンドとマルチメディア)(サウンドとオーディオデバイス)」を開き「オーディオ」タブ内の「音の再生」「録音」項目において優先するデバイスを「C-Media USB Audio Device」に変更する。この時「音量」タブ内の「ミュート」にチェックが入っていないかも確認してください。

Mac OS Xの場合
1.本製品をパソコンに接続した状態で「システム環境設定」を開いて、「サウンド」の「出力」「入力」の「C-Media USB Audio Device」を選択してください。この時「音量」の「消音」にチェックが入っていないかも確認してください。

Q4) 本製品をUSBで接続したままパソコンのスピーカーで音楽を聴こうとしたらヘッドホンから音が出る。
A4) A3)を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定してください。または、本製品をパソコンから抜いてください。自動的に切り替わります。
※アプリケーションを作動中にコネクタを差し替えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再度起動してください。

Q5) Skype通話の音声はUSBで接続した本製品から、音楽はパソコン本体のスピーカーから再生させたい。
A5) A3)を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定します。また、Skypeの「ツール」→「設定」→「オーディオデバイス」→「オーディオ出力」を「C-Media USB Audio Device」に設定します。